

HOPE



変わりつつある芦屋病院

病院長 金山 良男



いまや社会問題化しているともいえる医師不足は全国的にはまだ改善の兆しは見られませんが、幸いなことに芦屋病院では今年の4月からは眼科医師2名体制に戻り、7月からは新たに外科の医師が外科部長として着任いたしました。また、8月からは神経内科の外来が増えました。現在欠員となっている呼吸器内科医師の後任、さらに内科系医師の増員も予定されています。現在最も大きな問題となっている産婦人科、小児科の診療、救急医療体勢ももちろん堅持しておこなっています。専門看護師による皮膚・排泄ケア外来も開始しました。放射線科で行う乳腺撮影（マンモグラフィ）には女性放射線技師を専任させ、従来放射線技師が実施していた超音波検査については臨床検査技師も担当することになりました。最新鋭のCT、MRIもご利用しやすいよう迅速な対応を心がけています。開業の先生や他の病院との窓口となる地域連携室も、受付時間を午後7時30分まで延長するなど入・退院がスムーズに運ぶよう体制を強化しました。皆様から、「目に見えてよくなった」と言っていただけるよう職員一同励んでいます。まだまだ不十分なこともあると思います。お気づきの点は何なりとご指摘ください。

市立芦屋病院が「肝疾患専門医療機関」に選定されました！

このたび国のガイドラインに基づき、全国で肝炎治療の中核病院、専門病院、協力病院が指定されシステム作りがなされました。この近辺では兵庫医科大学病院が中核病院に指定されています。市立芦屋病院も8月より兵庫県の肝疾患専門医療機関に選定され、地域で開業医と協力し治療に当る第一線の病院とされています。また今回はウイルス性慢性肝炎診療の公費負担についてもお知らせしたいと思います。

診療局長 内科部長 桐山 和雄

ウイルス性慢性肝炎は B 型肝炎ウイルス (HBV)、C 型肝炎ウイルス (HCV) により引き起こされますが、放置すると肝硬変へと進行し、その中から肝癌が発生することがあります。普段はあまり症状がなく症状が出たときには手遅れのことも多い厄介な疾患です。

特に HCV は 1989 年に初めて正体がわかったウイルスなので、過去の輸血や、血液から製造したいわゆる血液製剤にこのウイルスが混入することにより C 型肝炎が発症している患者さんが多数おられます。フィブリノゲン製剤により C 型肝炎が発症し、製薬会社と国の管理監督責任が問われた事件は記憶に新しいことと思います。

ウイルス肝炎への国民の関心の高まりもあり、最近検査や治療への公的な援助が整えられてきているのでお知らせします。

a) HBV、HCV に感染していないかの検査が無料でできます。

肝炎ウイルス検査を未だ受診していない方で 20 歳以上の方。ただし、40 歳以上は、原則として市町や職場で実施する肝炎ウイルス検査の受診機会がない方に限る。等々の制限がつかますが、当院を含め、市内の指定医療機関で検査していただけます。期間は、平成 21 年 3 月 31 日までです。書類が必要なので、まず健康福祉事務所（保健所）にお尋ね下さい。

b) B 型、C 型慢性肝炎にインターフェロン治療の補助が開始されました。

C 型肝炎の場合インターフェロン治療により、かなりの確率でウイルスが排除できます。ウイルスが排除できれば先々肝硬変、肝癌といったコースは断ち切れますし、かりにウイルスの排除が出来ない場合でも発癌の危険性が減少します。インターフェロン治療は身体的にも経済的にも負担の大きな治療になりますが、今年 4 月から収入（納税額）に応じて治療費の補助が得られるようになりました。但し、ウイルスを排除することを目的とした治療に限り、一生に一度だけ、期間は限定、などといった制限がつかます。いつまでこの制度が続くか不確定ですので、現在は治療のいい機会と思われます。詳細は健康福祉事務所（保健所）にお尋ね下さい。

インターネットでは兵庫県ホームページ [肝炎インターフェロン治療費助成に関するQ&A](#) も参照してください。

Dr紹介

外科部長 水谷 伸



本年7月1日付で、大阪警察病院より当院外科に着任いたしました。昭和60年大阪大学卒業、専門は消化器外科、乳腺外科、特に各種癌疾患に対する手術、化学療法に長年携わって参りました。以前にも約5年間、この市立芦屋病院に勤務しており、今回再びこの病院で働くことができることを喜んでおります。今後は今までの経験を生かし、同じ外科手術でも、疼痛緩和や低侵襲を目的とした体にやさしい腹腔鏡手術を数多く導入するなど、少しでも患者様に満足して頂ける治療を提供して行きたいと考えております。趣味はゴルフ、スキー、大の猫好きです。どうぞよろしくお願い致します。

資格：医学博士 / 日本外科学会認定医・専門医・指導医 / 日本消化器外科学会認定医・専門医・指導医 / 日本乳癌学会認定医 / 消化器癌外科治療認定医 / 日本癌治療認定医機構暫定教育医

乳癌とその治療

乳癌は女性の癌の中では罹患率第一位であり、日本人女性の20人に1人が乳癌なると言われ、さらに今後増加傾向にあります。しかし早期発見し正しい治療を受ければ、大切な乳房を失うことなく完治する疾患でもあるので、すべての女性は乳癌検診やその治療についての知識を持つことが重要です。

【乳癌検診】自己検診も重要ですが、30歳を越えたら専門医療機関での乳房撮影（マンモグラフィ）検査あるいは超音波検査を年1回行うことをお勧めします。これにより触診でもわからないほどの微小乳癌を発見することも可能です。

【乳癌の治療】乳癌の治療には①手術②放射線治療③ホルモン治療④化学療法などの治療手段があり、すべて効果が期待できます。最近では患者様の年齢や進行度、腫瘍のタイプなどによりこれらの治療を組み合わせることで最も効果が出るように治療できるようになったので、発症後の生存率や生存期間が飛躍的に改善しています。

【当院での取り組み】芦屋病院ではマンモグラフィ検診精度管理中央委員会の基準に達した乳房撮影装置の購入、読影認定医や女性の撮影認定技師などスタッフが充実されている芦屋市唯一の検診施設です。芦屋市の平成18年度乳癌検診受診率は7.6%と低く、兵庫県では下から8番目です。今年度は乳癌検診受診率アップを目標に掲げキャンペーンを繰り広げます。また治療に関しては、手術は乳房温存手術を基本とし、患者様の要望に則した整容性を重視した手術を心掛けています。さらに特殊な方法で術後に発生しやすい上肢の運動障害や腕のむくみなどの後遺症を軽減させる工夫にも取り組んでいます。化学療法については新規抗癌剤をいち早く取り入れ、外来化学療法室で、専門のスタッフのもとで化学療法を行っています。

以上、近年乳癌の治療は急速に進歩しており、このようなことを理解し乳癌検診の心得を忘れなければ、乳癌は恐れる必要のない疾患と言えるでしょう。

『市立芦屋病院よろず相談』始めました!!

市立芦屋病院では毎週火曜日と金曜日に芦屋市役所にて医療相談を始めました。

最近体調で気になることがある、検診についての手続きや内容について知りたい、介護方法について詳しく知りたい…などなど当院の看護師が医療に関する相談を親身にお伺いいたします。相談は無料で秘密は厳守致します。どうぞ気軽にご相談ください。



開催日 : 毎週火曜日・金曜日
時間 : 午前10時～午後12時
場所 : 芦屋市役所 北館1階 玄関ホール



小児科部長 田平 公子



インフルエンザの流行は12月下旬から3月末までがシーズンで、大体1月下旬から2月中旬にかけて流行のピークを迎えます。

典型的なインフルエンザの症状は発熱、喉の痛みに加え強い全身症状を同時に伴って急に発症するのが特徴です。鼻汁、咳等の呼吸器症状の他に嘔気、嘔吐、下痢等の消化器症状や関節痛、筋肉痛もよくみられます。

幼少児では熱性痙攣や稀に脳炎、脳症の報告もあります。高齢者で慢性心肺疾患や糖尿病等のハイリスク患者には肺炎の合併が懸念されます。感染力が強く、潜伏期間は1-2日と短く同症状の人が周りから多くは問診と症状で診断はつきますが、最近では10分前後で迅速診断できるキットが開発され、病原診断することで適切なインフルエンザ治療薬の投与、病気の経過、見通し、合併症等の説明が出来るようになりました。感染予防にはうがい、手洗いは勿論のこと、是非ワクチンの接種をお勧めします。インフルエンザワクチンはリスクの高い高齢者や乳幼児の接種は勿論のこと、免疫効果の高い健康成人や学童など周囲の人々の接種により、ハイリスク患者の感染機会を減少することも大切です。又インフルエンザウイルスは毎年異なったウイルスが流行する事と、誘導された免疫は5ヶ月程しか持続しないので、接種は毎年受ける必要があります。



市立芦屋病院でもインフルエンザ予防接種を受けることができます！

市立芦屋病院でもインフルエンザワクチンの予防接種を受けることができます。毎週木曜日午後1時からの予約制となっておりますので、事前に予約をお願い致します。

問い合わせ先：市立芦屋病院 業務課 医事担当 TEL 0797-31-2156

費用：65歳以上の方(当日までに満65歳の方を含む)は1回1,000円 ※一般の方も費用は異なりますが、予防接種を受けることができます。

食欲の秋！ 食生活を見直してみませんか？

1年でもっとも過ごしやすい季節がやってきました。何をたべてもおいしい季節ですね。そんな季節だからこそ自分の食生活を振り返るいい機会です。チェックしてみましょう。

たべすぎま(たべなすぎま) いまませんか？
スポーツの秋 読書の秋 食欲の秋

あなたの食事は大丈夫？ 食生活指針より一部抜粋

1日の食事のリズムから、健やかな生活リズムを。

・朝食で、いきいきと。夜食や間食は控えて

主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。

・手作りとお外食や加工食品・調理食品を組み合わせましょう。

ごはんなどの穀類をしっかりと

・穀類を毎食とりましょう。

野菜・果物、牛乳・乳製品、豆類、魚なども組み合わせる。

食塩や脂肪は控えめに。

適正体重を知り、日々の活動に見合った食事量を。

・太ってきたかなと感じたら、体重を量りましょう。

・しっかりかんで、ゆっくり食べましょう。

食文化や地域の産物を活かし、ときには新しい料理も。

調理や保存を上手にして無駄や廃棄を少なく。

自分の食生活を見直してみましょう。

・自分の健康目標をつくり、食生活を点検する習慣を持ちましょう。

その他にも
芋類・小麦粉など

その他にも
卵・豆腐・牛乳など



その他にも
海藻・きのこなど

肥満状態に糖尿病・高血圧・脂質異常症が合併すると動脈硬化のリスクが高くなります

その一口が…

★間食のカロリー★

ショートケーキ	1個	350 kcal
シュークリーム	1つ	170 kcal
クッキー	3枚	96 kcal
チョコレート	4粒	90 kcal
カステラ	1切れ	160 kcal
大福もち	1つ	160 kcal
どらやき	1つ	240 kcal
焼きせんべい	2枚	120 kcal
パナアイス	1つ	300 kcal
ピーナッツ	10粒	80 kcal

五訂日本食品成分表参考



当院では、栄養士による療養のための食事相談を実施しています。

主治医と相談の上お気軽におこし下さい。

日時：平日 9～17時

場所：外来棟相談室

費用：390円(3割負担の場合)

1日にとりたい食品の目安

これ全部たべて 1600キロカロリー



芦屋病院 秋の公開講座のお知らせ

～変わりゆく医療、
変わりゆく病院～



秋の公開講座は新しい治療への取り組みや、ぜひ知っていただきたい最新情報を市民の皆さまにお伝えしたいと考えています。総合病院ならではの様々な分野の講演を企画しましたので関心のあるテーマだけでもお越しください。

◆時間 午後2時～3時30分 ◆場所 市民センター 401 室 ◆定員 100人 ◆受講料 1,000 円 (6回分で)

回	月 日(曜)	内 容	講 師	
1	10月25日(土)	乳がんとマンモ検診	芦屋病院 外科部長	水谷 伸
2	11月8日(土)	白内障と緑内障	芦屋病院 眼科医長	竹田 清子
3	12月6日(土)	抗がん剤治療の進歩と医療状況の変化	芦屋病院 内科部長	古林 孝保
4	2009年 1月17日(土)	小児の下痢	芦屋病院 小児科部長	田平 公子
5	2月14日(土)	婦人科の病気と漢方	芦屋病院 産婦人科部長	多田 博文
6	3月7日(土)	新しい治療・地域医療への取り組み	芦屋病院 病院長	金山 良男

※講座のテーマは変更になることがあります。

申し込み方法 ①講座名、②住所、③氏名、④電話番号を記入の上、はがきかファックスで公民館へお申し込みください。
《あて先》〒659-0068 芦屋市業平町 8-24 芦屋市立公民館 TEL 0797-35-0700 (応募多数の場合は抽選となります)

11月 院内の催し 各教室のご案内

糖尿病教室

テーマ「糖尿病の治療・セルフケア」

日時：11月14日(金)午後1時30分～午後3時
場所：芦屋病院 南病棟1階 講義室
問い合わせ：市立芦屋病院 栄養科

肝臓病教室

テーマ「B型慢性肝炎・急性肝炎・よく使われるお薬について」

日時：11月28日(金)午後1時30分～午後3時
場所：芦屋病院 南病棟1階 講義室
問い合わせ：市立芦屋病院 栄養科

両親学級

テーマ「お産の経過・あかちゃんのお風呂について」

日時：11月8日(土) 午前10時～午前12時
場所：芦屋病院 南館1階講義室
対象：妊娠22週以降の妊婦さんとパートナー(5組10名)
問い合わせ：市立芦屋病院 産婦人科外来

<http://www.ashiya-hosp.com>

市立芦屋病院についてのさらに詳しい情報については、ホームページをご覧ください。

市民ギャラリー

テーマ「木版画展」宮本 秋風

期間：11月1日(土)～11月30日(日)
場所：芦屋病院 5階渡り廊下展示ギャラリー

芦屋病院マチネーコンサート

入場無料です

テーマ「音楽は国境をこえて」

日時：11月9日(日) 午後2時30分～午後3時30分
場所：芦屋病院 外来棟5階 待合ホール
黄色いピアノ前
出演：イグザビエル(ヴァイオリン)、金澤 佳代子(ピアノ)



市立芦屋病院ご案内

-----交通案内-----

- JR芦屋駅、阪急芦屋川駅から
- タクシー 約5分
- バス 約15分
- JR芦屋駅、阪急芦屋川駅のりば2番
- 徒歩 約30分



市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町 39-1
TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822
ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>